

患者の皆様へ

2019年10月3日
薬剤部

現在、薬剤部では、赤血球濃厚液輸血が免疫抑制剤の血中濃度と副作用に及ぼす影響に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2012年1月～2018年12月に当院で免疫抑制剤使用中に赤血球濃厚液輸血を受けられた患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「赤血球濃厚液輸血が免疫抑制剤の血中濃度と副作用に及ぼす影響」

2. 研究の意義・目的

「輸血が必要とされる状況において免疫抑制剤による治療を安全に受けて頂くための知見を得ることを目的とする」

3. 研究の方法

「平成24年1月1日から平成30年12月31日の間において、診療録に記載されている輸血前後の免疫抑制剤の血中濃度と、血液検査値、年齢、身長、体重の関係を調べる」

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学医学部附属病院薬剤部の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院薬剤部

本件のお問合せ先 : 千葉大学大学院薬学研究院

助教 内田 雅士

043 (226) 2889 内線 7739 (医療薬学研究室)